



2026年2月16日

各位

会社名 アップコン株式会社  
(コード番号 5075 名証ネクスト市場)  
代表者名 代表取締役社長 松藤 展和  
問合せ先 取締役管理本部本部長 和田 進一  
(TEL 044-820-8120)

新中期経営計画ローリングの策定のお知らせ

当社は、2026年1月期(第23期)から2028年1月期(第25期)までの3ヶ年を対象とした新中期経営計画ローリングを策定いたしましたので、お知らせいたします。

詳細につきましては、別添資料をご覧ください。

以上

2027年1月期（第24期）～2028年1月期（第25期）

# 新中期経営計画ローリング

健康経営・研究開発型企业に向けて

アップコン株式会社



01. 事業環境および前中期計画の振り返り

02. めざす姿

03. 新中期経営計画ローリング

04. 成長戦略

05. 組織体制と人材育成

06. コーポレートガバナンスおよび内部統制強化

07. Topics



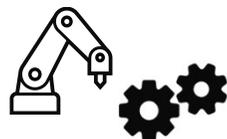
01.	事業環境および前中期計画の振り返り
02.	めざす姿
03.	新中期経営計画ローリング
04.	成長戦略
05.	組織体制と人材育成
06.	コーポレートガバナンスおよび内部統制強化
07.	Topics

## 01.事業環境および前中期計画の振り返り

2027年1月期（第24期）沈下修正を取り巻く環境は、国策である「国土強靱化計画」及び防衛費予算の拡充により、昨年に引き続き良好かつ拡大傾向にあります。



**DXの加速化**  
工場・倉庫・店舗増



**気象災害**（地震・台風など）  
軟弱地盤・液状化



**インフラの老朽化**  
に伴う補修増



### 民間事業

- ▶ 物価高や建築資材の高騰を背景とした、価格転嫁により、1物件あたりの施工受注金額は増加傾向にある。  
（工場・倉庫・店舗）
- ▶ 各業種におけるDXの加速化により、生産性の向上及び効率化が求められる中、短工期かつ機動性の高い施工技術のニーズが高まっている。

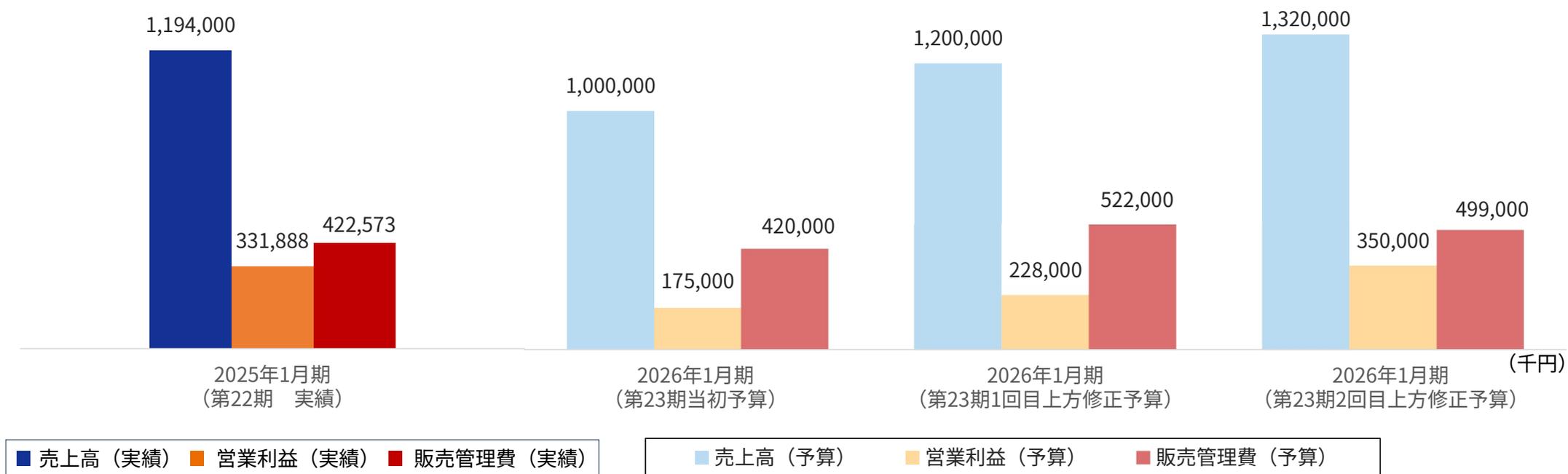
### 公共事業

- ▶ インフラの老朽化に伴う補修工事が増加し、高速道路や農業用水路トンネルの補修需要は今後も拡大する見通し。
- ▶ 防衛費予算の拡充により、老朽化した防衛省関係の施設等による修繕需要が見込まれる。

## 01.事業環境および前中期計画振り返り（前22期実績および23期上方修正予算）

### 2025年1月期（第22期）～2026年1月期（第23期）の予算と実績対比

2026年1月期（第23期）当初予算に関しては、期初予算10億円を計画しましたが、大型案件の受注があり1回目上方修正が12億円、2回目上方修正が13億2千万円に上方修正予算としました。



※23期売上高予算は1,000,000千円→1,200,000千円（1回目）→1,320,000千円（2回目）に上方修正  
※23期実績は未確定事項

## 01.事業環境および前中期計画の振り返り（実績対比および23期最終予算）

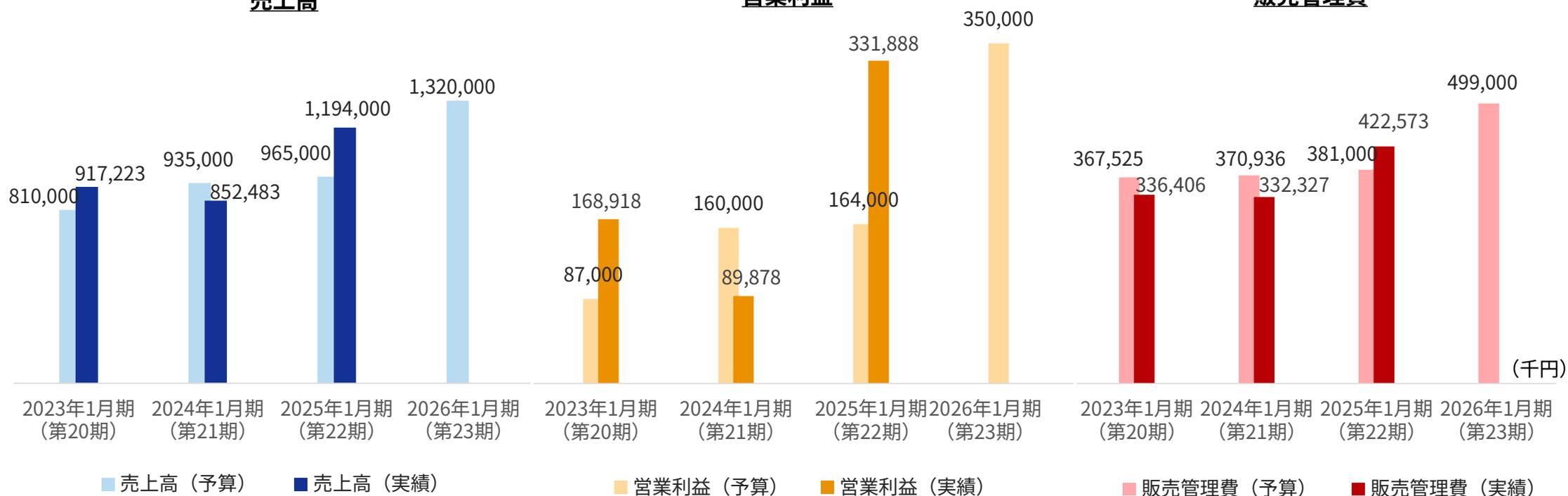
### 2023年1月期（第20期）～2026年1月期（第23期）の予算と実績対比

沈下修正事業の売上高推移として年3%～5%の増収予算を計画しました。  
年度ごとにより変動はありますが、4年間の平均では計画予算を上回る結果となりました。

売上高

営業利益

販売管理費

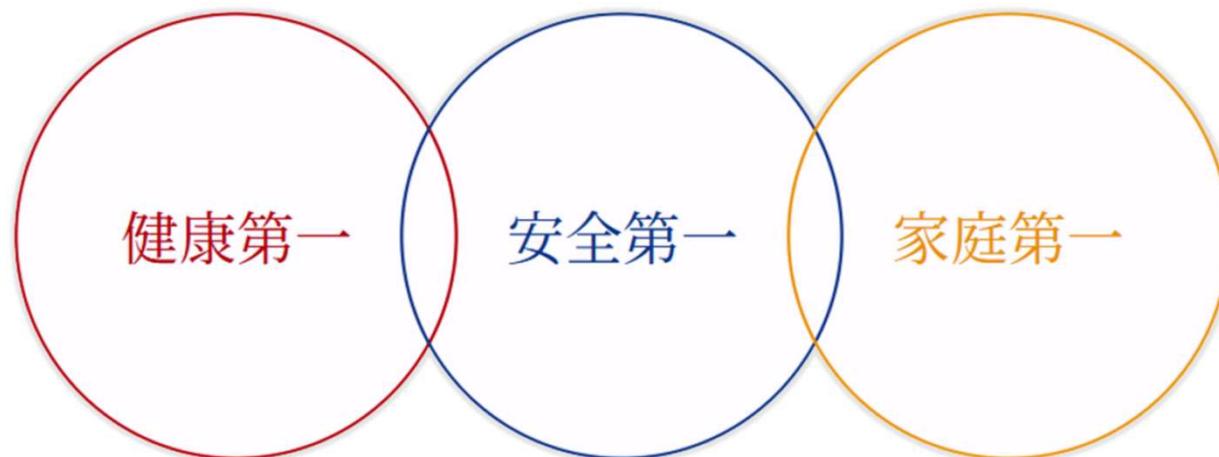


※23期の予算は上方修正後の予算になります



01.	事業環境および前中期計画の振り返り
<b>02.</b>	<b>めざす姿</b>
03.	新中期経営計画ローリング
04.	成長戦略
05.	組織体制と人材育成
06.	コーポレートガバナンスおよび内部統制強化
07.	Topics

### 基本理念



### 経営方針

**スピードと環境を重視した経営を行い、  
社会貢献度の高い研究・開発型企业となることを目指します。**

# アップコンはウレタン樹脂を使った施工、 および研究開発で事業展開しています。

当社は、工場・倉庫・店舗（商業施設）や、一般の住宅などの建物において、地盤の不同沈下を原因として生じたコンクリート床の沈下・傾き・段差・空隙を完全ノンフロンのウレタン樹脂、および小型機械を用いた独自の「アップコン工法」によって修正する施工を主力事業として展開しております。また、新たな事業展開推進のため、多数のプロジェクトを進行させ、硬質発泡ウレタン樹脂の新規応用分野への研究開発に取り組むことで、自ら市場を創りながら事業を開拓していくサイクルを目指す研究開発型企業を目指しています。





01.	事業環境および前中期計画の振り返り
02.	めざす姿
<b>03.</b>	<b>新中期経営計画ローリング</b>
04.	成長戦略
05.	組織体制と人材育成
06.	コーポレートガバナンスおよび内部統制強化
07.	Topics



#### 新中期経営計画目標

1. 次なる株式市場に向けた沈下修正事業のシェア拡大
2. 研究開発への取り組みを強化
3. 営業力強化に向けた社内システムDX化



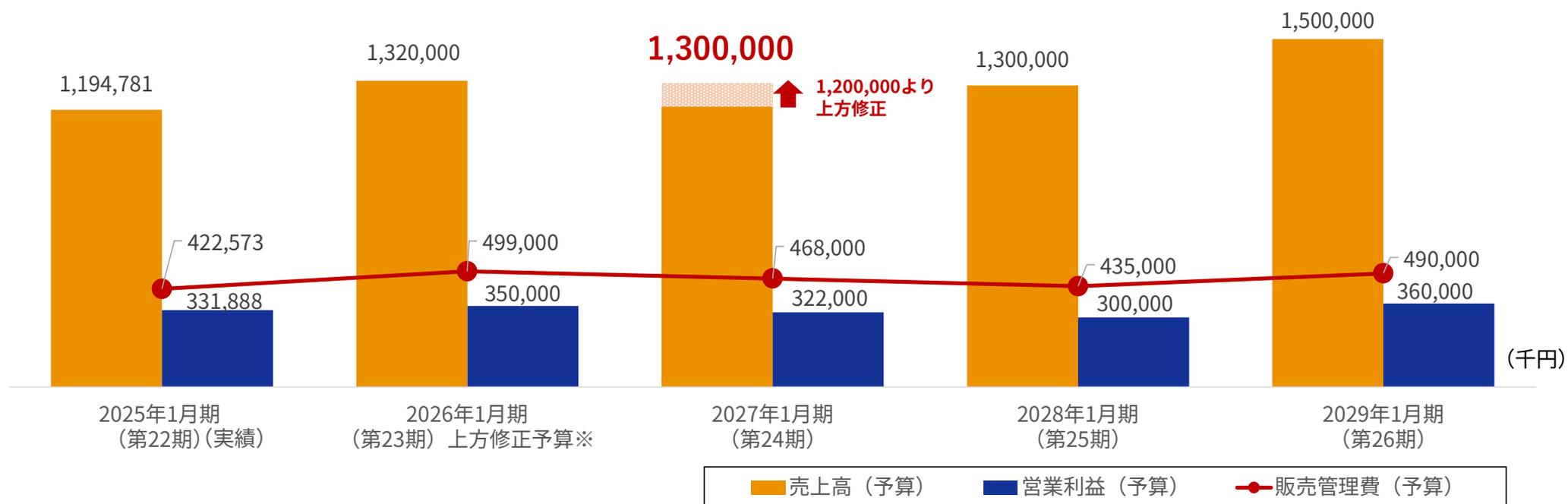
引き続き「生産性UP 」を軸として、上記の目標達成を推進。

### 03.新中期経営計画目標ローリング（業績目標）

#### 2029年1月期（第26期）に売上高15億円を目指します

2027年1月期（第24期）は当初計画の売上高12億円から、1年前倒しで売上高1億増へ上方修正し13億円を目指します

沈下修正工事を主な事業とする当社の2027年1月期の事業環境は、民間および公共の両分野で更なる需要増加が見込まれるため、営業力強化をスピード感をもって実施してまいります。





01.	事業環境および前中期計画の振り返り
02.	めざす姿
03.	新中期経営計画ローリング
<b>04.</b>	<b>成長戦略</b>
05.	組織体制と人材育成
06.	コーポレートガバナンスおよび内部統制強化
07.	Topics

## 04.成長戦略（沈下修正セグメント）

民間事業・公共事業のセグメントにおいて、社会基盤の整備に貢献する沈下修正を行っております。



### 民間事業

- ・コンクリート床スラブ沈下修正工法  
（アップコン工法）

引越し不要、操業・業務を止めない工法。  
工場・倉庫・店舗・住宅など、日本全国および  
海外での沈下修正工事を行います。

**工場・倉庫・店舗・住宅・事務所/海外施工等**



### 公共事業 ※公共インフラ系

- ・コンクリート舗装版補修工法
- ・農業用水路トンネル機能回復加圧式  
ウレタン充填工法（FRT工法）

高速・一般道路、空港・港湾など日本全国の  
沈下修正および空隙充填工事を行います。  
農業用水路トンネルの維持・補修工事を行います。

**道路・農業用水路トンネル・空港・  
港湾・学校・自衛隊施設等**

## 農業用水路トンネル機能回復加圧式ウレタン充填工法（FRT工法）



### 2016年1月期（第13期）事業化に成功

インフラ施設の老朽化対策として、農林水産省の平成22～24年度官民連携新技術研究開発事業を活用し、2016年1月期に事業化に成功

### 農業水利施設の50%が耐用年数を超過

2020年時点で基幹的な農業水利施設の50%（11,581箇所）が既に耐用年数を超過し、今後10年のうちに標準耐用年数を超過する施設は全体の17%（4,102箇所）  
日本全国の農業用水路トンネルの総延長は、約2,000km

出典：農林水産省 「農業水利施設におけるストックマネジメントの取組について」（2023年3月版）

## 04. 成長戦略（研究開発プロジェクト）

### 4つの研究開発プロジェクトが進行中

※特許出願中

電柱プロジェクト

特許第5227085号

杭状地盤改良プロジェクト

壁断熱プロジェクト

リサイクルプロジェクト

特殊なウレタン樹脂の可能性を追求し、自ら事業創出・新事業を確立します。

## 04. 成長戦略（事業化に向けた研究開発プロジェクト）

がんきょうちゅう

### 頑強柱（コンクリート柱ウレタン強化工法）

特許出願中

自然災害時の倒壊を防止

少人数

狭小地エリア

短工期

「頑強柱」は、既設の3.5kNコンクリート柱の中空部に、補強用に開発した硬質発泡ウレタン樹脂を注入・充填することでコンクリート柱の破壊荷重を増加させ、自然災害時のコンクリート柱の倒壊を防ぐ工法です。

**高強度の発砲ウレタン樹脂**を注入し、既設のコンクリート柱を交換することなく、その強度を増加させます。

#### 特長1 短工期

**既設コンクリート柱を強化**するため、撤去する必要がなく少人数で施工が可能です。

#### 特長2 狭小地での施工が可能

建て替えが困難な狭小エリアでの補強が可能です。



## 04. 成長戦略（事業化したプロジェクト）

### 応急復旧工法「ダンタン」

特許取得済

震災時の道路

段差

不陸

陥没

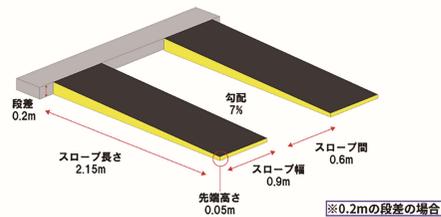
短時間で解消

#### 特長1 被災した現場の形状に合わせて スロープを形成

震災時に被災して生じた道路の段差に、高強度ウレタン樹脂を吹き付けてスロープを作成し、応急的に走行を可能にする工法です。

#### 特長2 約1時間でスロープを形成。 すぐに走行が可能

高強度ウレタン樹脂は、吹き付けた直後から硬化する性質を持っているため、**作成後15分で走行可能**。また、段差だけでなく不陸や陥没にも吹き付けて補修することが可能です。



## 04. 成長戦略（事業化したプロジェクト）

### 道路の陥没防止 「ウレタン空洞充填工法」

特許出願中

道路陥没防止

道路補修専用

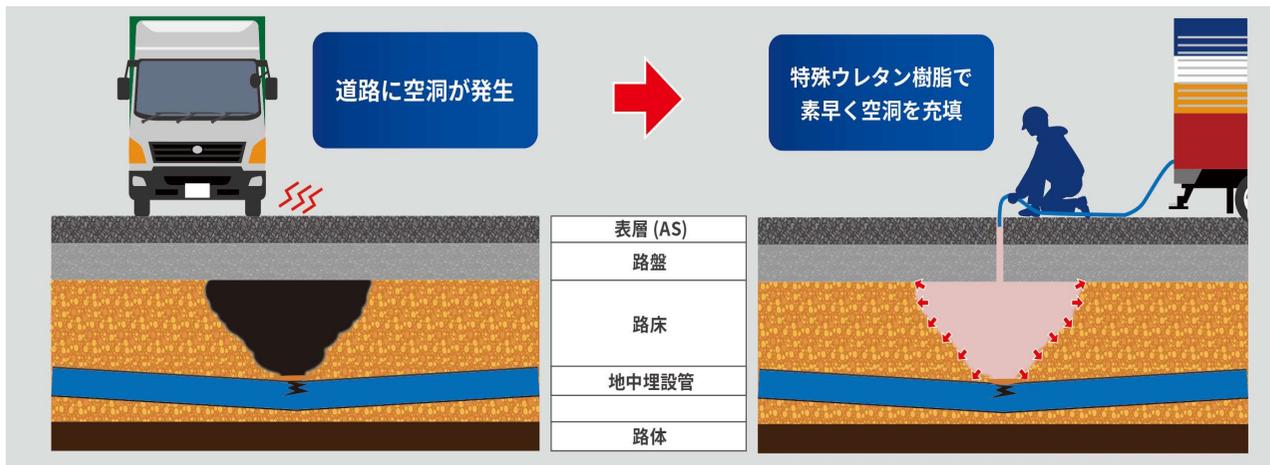
環境配慮型

短工期/開削不要

**硬質ウレタン樹脂**を使用し、道路に発生した空洞を素早く充填する工法。

#### 特長

老朽化した埋設管などが原因で道路の路盤内に発生した空洞の充填工法として適用可能。  
使用する材料は国土交通省の定めた上層路盤の品質規格で定められた材料と同等以上の強度を短時間で発現。



※実験の様子

## 04. 成長戦略（グローバル事業戦略）

### グローバル展開

#### Lac Viet社(ベトナム)との連携を強化 当社の専属施工会社として新たに活動を開始

- ・ Lac Viet社(ベトナム)とのライセンス契約満了に伴い、当社が主体となって営業活動を行い、施工時は当社の専属施工会社として施工を行う体制を強化。
- ・ ジェトロ本部海外展開支援課とも協議し、市場調査および現地日本人との交流機会を増やし情報収集を行い、営業力の強化を継続。

#### ベトナム全土への施工を目指す

- ・ 北ベトナムから南ベトナムまで営業活動の拡大を目的に、建設総合展示会「VIETNAM INTERIOR & BUILD EXPO」に出展。岡三リビングベトナム社（OKASAN LIVIC VIETNAM CO.,LTD）様のブース内で、アップコン工法のPRを実施。



## 04. 成長戦略（営業施策）

### 多角的な接点構築 プロモーション展開

シェア拡大

#### デジタルマーケティングの強化

- Webコンテンツの拡充（新規製品ページ）
- SEO対策強化
- WEB広告の出稿
- メール配信施策（施工事例・コラムの充実）



#### 新規リード獲得に向けた展示会出展

IRの展示会を含め年間で5～7件以上の展示会に出展を予定



#### キャンペーン実施

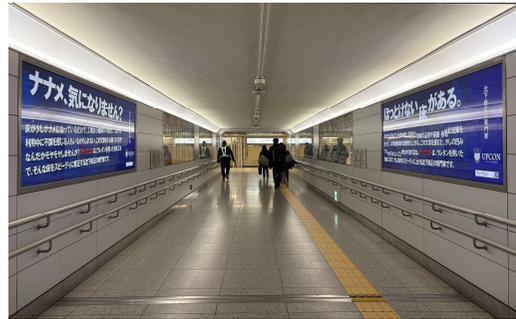
現地調査を無料で行う「調査無料キャンペーン」の実施



## 04. 成長戦略（営業施策）

### 認知度向上のための広告

#### JR名古屋駅広告



新幹線下り階段：パネル型広告  
2025年5月（H1,700×W2,200）

在来線コンコース：4面（2026年1月）  
（最大H1,013×W2,946）

4面広告内容



#### 新聞広告の出稿



中日新聞・中部経済新聞に定期的な広告出稿

#### 福岡市回転広告塔



福岡県東区北部を南北に縦断する交通の要所、国道3号線博多バイパス沿いに回転広告塔（2025年5月）

### 主な事業投資

2028年1月期（第25期）は自社研究施設兼倉庫を新築予定（2～4億円）。

### 社内DX化の推進

社内DX化として新たに営業支援システムの導入・実用化。  
これにより効率化および施工関連資料の共有管理を目指す。  
350万円を予算化。

### 次なる株式市場への挑戦

営業管理体制および内部管理体制をより強化させ、次なる株式市場への  
ステップアップを目指す。

## 04.成長戦略（財務目標）

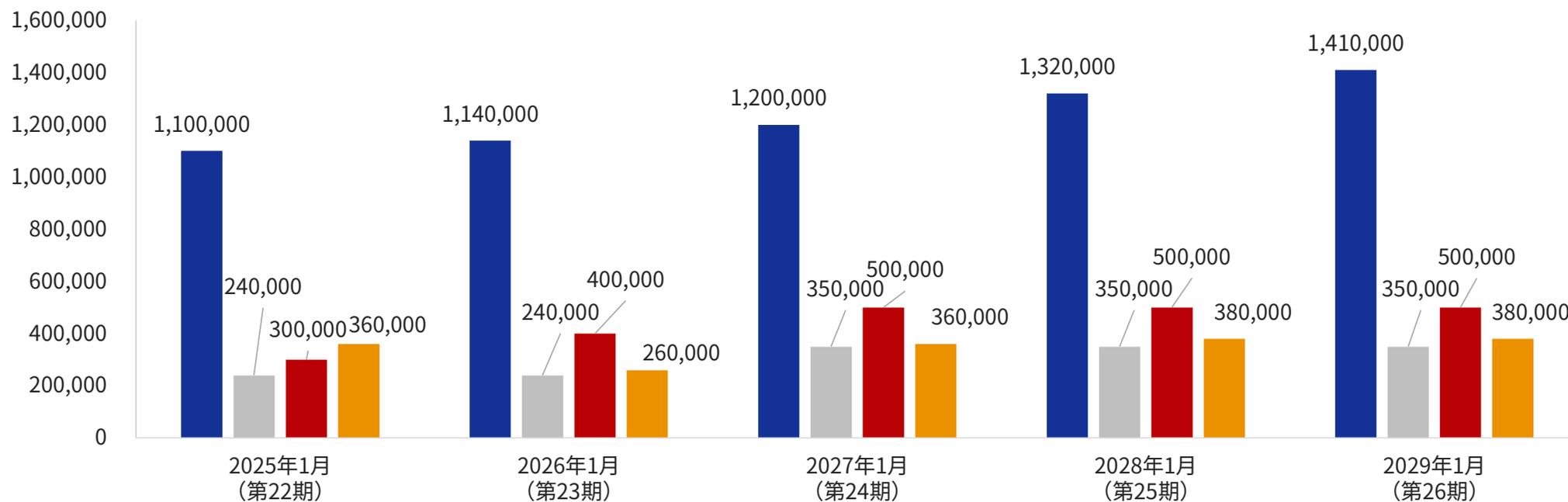
次なる株式市場へのステップアップを視野に入れた資金計画として、資金使途をグラフ化しました。



## 04.成長戦略（資金内容状況）

### 資金内容状況

単位：千円



■ 普通預金 ■ 定期預金 ■ 投資資金 ■ 運転資金

**普通預金** 11億  
**投資資金** 3億/年  
**運転資金** 3.6億/年



**普通預金** 14.1億  
**投資資金** 5億/年  
**運転資金** 3.8億/年

## 04.成長戦略（損益計算書および自己資本額）

次なる株式市場へ向け、営業力の強化を行い経営基盤の強化を図る。

（単位：千円）

	2025年1月期 （第22期）	2026年1月期 （第23期）	2027年1月期 （第24期）	2028年1月期 （第25期）
<b>P L</b>				
売上高	1,194,000	1,320,000	1,300,000	1,300,000
売上総利益	754,000	849,000	790,000	735,000
営業利益	331,000	350,000	322,000	300,000
経常利益	337,000	355,000	325,000	302,500
当期純利益	244,000	215,000	213,000	197,000
<b>B S</b>				
自己資本額	1,539,000	1,754,065	1,620,000	1,762,000

※今期の業績予想を2025年11月17日付で修正しております  
※2028年1月期（第25期）に関しましては当初の計画になります。

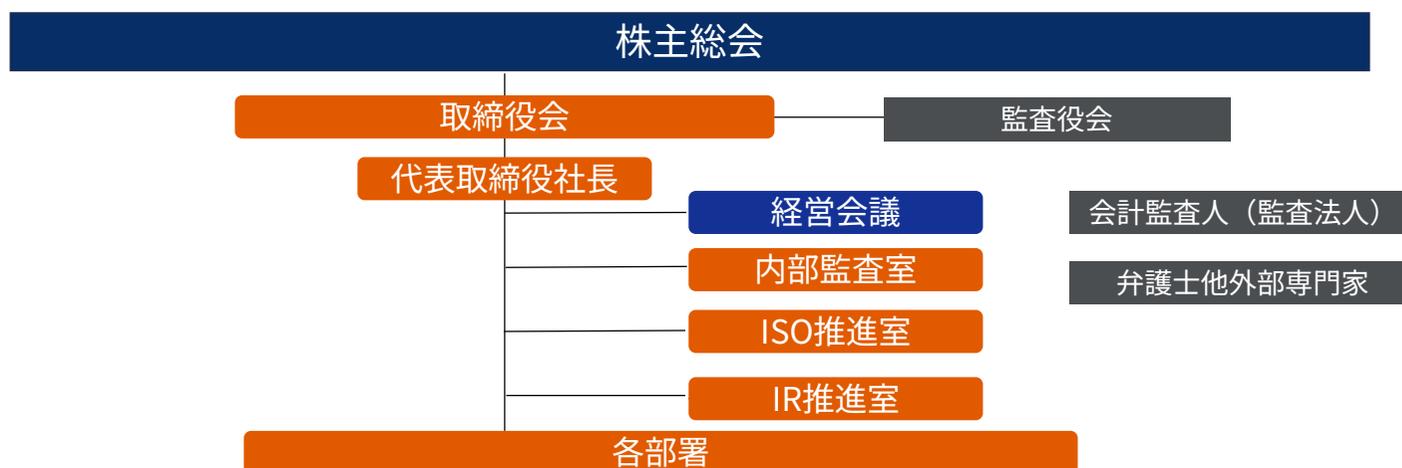


01.	事業環境および経営計画
02.	めざす姿
03.	新中期経営計画ローリング
04.	成長戦略
<b>05.</b>	<b>組織体制と人材育成</b>
06.	コーポレートガバナンスおよび内部統制強化
07.	Topics

## 05.組織体制と人材育成

2027年1月期（第24期）は下記体制でスタートとします。

- 管掌役員の体制を明確化し、内部体制基盤を強化
- 関連企業や大学と連携し、研究開発および人材採用の強化
- 新人事制度のスタート



それぞれの部に管掌取締役を置き統制のとれた組織とし、内部監査室を増員、社内管理体制の強化を図り、より明確な役割を担う体制を維持。次なる株式市場へのステップアップの準備を行う。

新人事制度のスタートで、より明確な人事評価を行える体制の確立。

会社が社員に求める能力や期待を明確化する社員の自覚を促し、モチベーションアップにつなげる。

(役職呼称の見直し、マネージャー・シニアマネージャーに名称を変更)

## 05. 組織体制と人材育成（健康経営）

### 健康経営優良法人として

- ・健康経営推進企業として

9年連続で「健康経営優良法人」に認定

「ブライツ500」認定スタート時から5年連続認定更新中



- ▶ 健康活動推進
- ▶ 健活ポイント制度の導入・ルール策定
- ▶ 全社非喫煙宣言を実施
- ▶ 50歳以上の従業員は人間ドックを受診



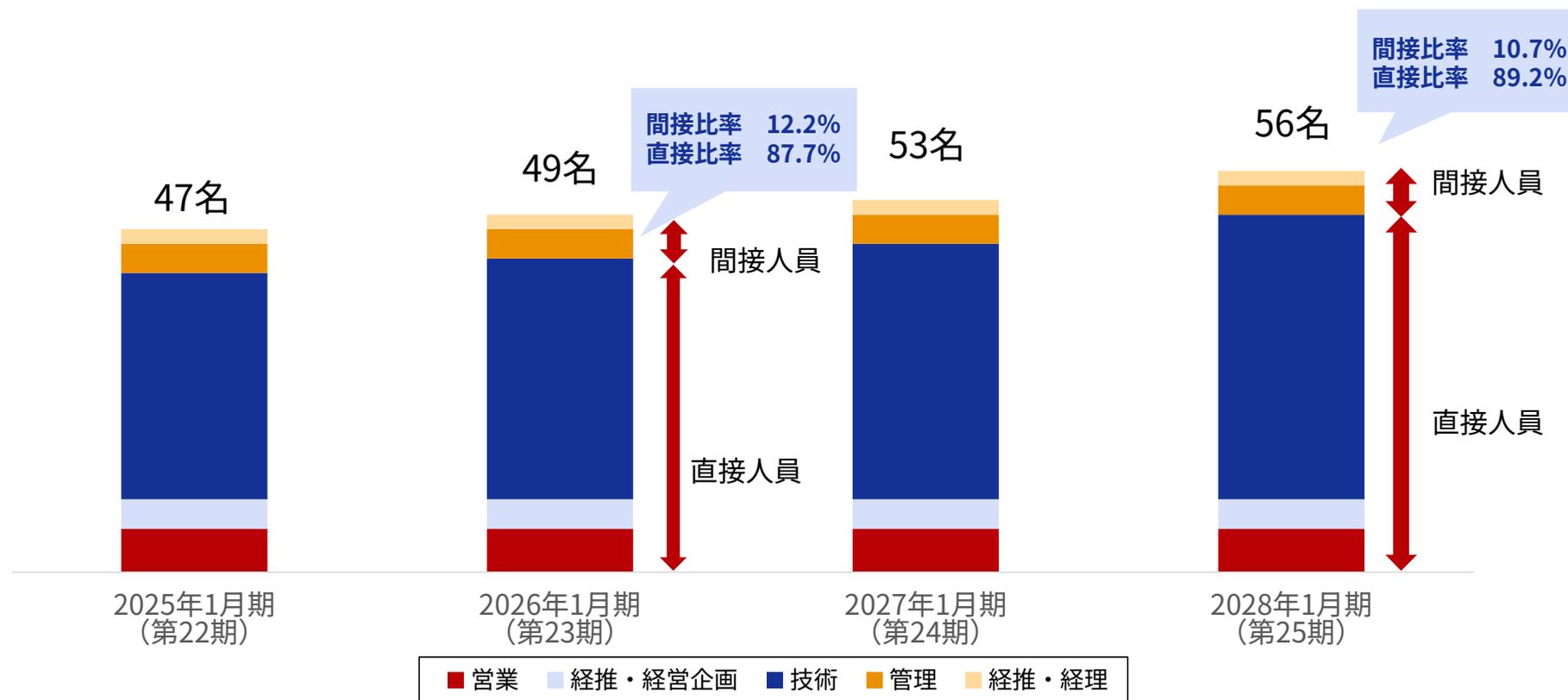
## 05.組織体制と人材育成（採用目標）

2026年1月期 (第23期) 実績	2027年1月期 (第24期) 計画	2028年1月期 (第25期) 計画
新卒採用 2名 中途採用 1名	新卒採用 4名 中途採用 1名	新卒採用 3名以上 中途採用 0名
<b>技術 2名増</b> 営業 0名増 管理 0名増 経推・経理 0名増 経推・経営企画 1名増減 <b>合計 2名増</b>	<b>技術 4名増</b> 営業 0名増 管理 0名増 経推・経理 0名増 経推・経営企画 1名増減 <b>合計 4名増</b>	<b>技術 3名増</b> 営業 0名増 管理 0名増 経推・経理 0名増 経推・経営企画 0名増 <b>合計 3名増</b>
総従業員 49名 (2月15日現在)	総従業員 53名  ※新卒内定者4名 (2月15日現在)	総従業員 56名以上 ※退職者考慮無し

## 05.組織体制と人材育成（従業員構成と想定推移）

### 従業員構成と想定推移

従業員構成最大60名 施工稼働数最大10台 直接比率85%以上を維持し生産性向上を図る





01.	事業環境および前中期計画の振り返り
02.	めざす姿
03.	新中期経営計画ローリング
04.	成長戦略
05.	組織体制と人材育成
<b>06.</b>	<b>コーポレートガバナンスおよび内部統制強化</b>
07.	Topics

### コーポレートガバナンス

- 1. ステークホルダーの保護と利益向上を重視し企業価値の向上を図る**  
(安定利益の確保・株主配当性向10%以上を目標としていく)
- 2. 適時開示および情報管理の強化**  
(ITセキュリティ強化・月次決算の短縮化・外部セミナーおよび交流会の参加)
- 3. 取締役会の充実** (月次資料の充実、情報収集の強化および事前報告手段の確立)

### 内部統制

- 1. 業務プロセスの徹底管理** (IT活用・証票承認機能強化・労働環境改善)
- 2. 財務管理および報告・開示体制の強化** (月次決算早期化・開示日数の短縮)
- 3. 法令遵守の徹底** (リーガルチェック体制強化・内部監査員の増員)



01. 事業環境および前中期計画の振り返り

02. めざす姿

03. 新中期経営計画ローリング

04. 成長戦略

05. 組織体制と人材育成

06. コーポレートガバナンスおよび内部統制強化

**07. Topics**



### 設備投資

#### 研究施設兼倉庫用 土地の取得

土地の概要：川崎市高津区末長（317.70㎡）

取得の理由：事業戦略上の位置づけとして

今後の日程としては2027年1月期（第24期）中に、  
設計プランの確定。  
2028年1月期（第25期）に着工および竣工予定です。



現地写真

### IR活動の取り組み

当社は、株主・投資家等のステークホルダーの皆さまに対する情報開示を適時・適正に行い、相互理解を深めるために積極的なIR活動を行ってまいります。

#### 2025年2月

- ・ STOCK VOICE 「資産形成フェスタ」 in 東証アローズ Online 2025に代表取締役社長松藤が登壇

#### 2025年3月

- ・ ラジオNIKKEI & プロネクサス共催 企業IR&個人投資家応援イベントに出展
- ・ ログミーファイナンスに2025年1月期決算説明の書き起こし記事を掲載
- ・ ストックボイス「東京マーケットワイド」に代表取締役社長松藤が出演

#### 2025年4月

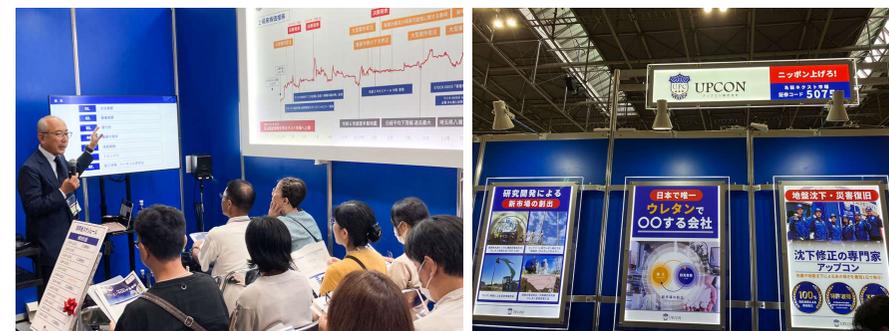
- ・ 第22回定時株主総会を開催

#### 2025年9月

- ・ 名証IR EXPO 2025 (展示会) に出展

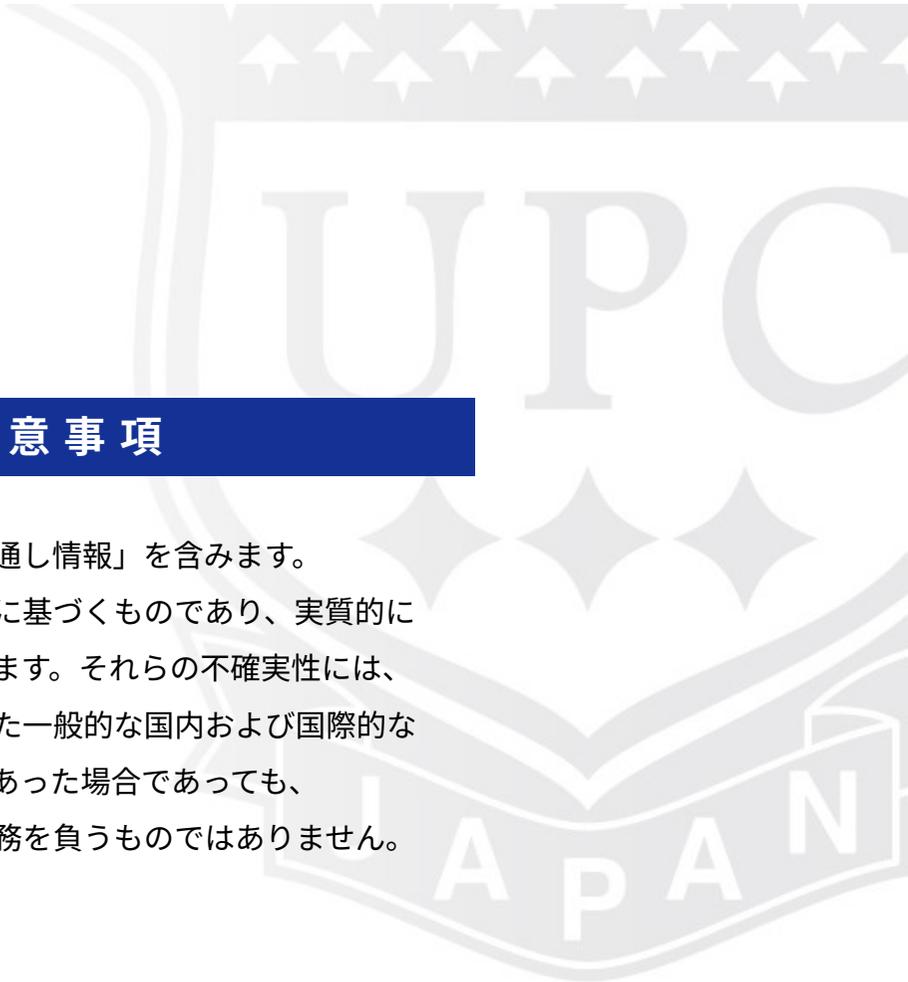
#### 2025年12月

- ・ ラジオNIKKEI & プロネクサス共催 個人投資家向けセミナーに出展





アップコンは「ニッポン上げろ!」を合言葉に、  
日本全国を足元から支え、  
暮らしやすい社会に貢献していきます。



## 将来の見通しに関する注意事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらの不確実性には、一般的な業外ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。今後、新しい情報や将来の出来事等があった場合であっても、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。